



Rotary International

SERVICE Above Self

超我の奉仕

2005～2006年度・国際ロータリーテーマ
カール・ヴィルヘルム・ステンハーマー会長



THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH

東京新南ロータリークラブ

No.885/2005.10.28

例会日/毎週金曜日12:30

例会場/東京全日空ホテル Tel 03-3505-1111

事務局/〒107-0052東京都港区赤坂2-19-8

赤坂2丁目アネックス3F

Tel /03-3505-5976

Fax /03-3505-6004

E-mail/new-south@h9.dion.ne.jp

http://www.h3.dion.ne.jp/~newsouth

Weekly Report

東京新南ロータリークラブ週報

「全員参加で実行しよう」

2005～2006年度・東京新南ロータリークラブテーマ/小杉修造会長

●本日の例会/2005年10月28日第906回例会

卓話 イニシエーションスピーチ

「未病について」

当クラブ会員 コリトレール(株)代表 墨屋 勇 君

●先週報告/10月20日(木)第905回例会

第2750地区市川伊三夫ガバナー公式訪問

東京南RC・東京新南RC 合同例会

ご来賓	地区ガバナー	市川伊三夫氏(東京銀座)
	地区幹事	能勢 陽一氏(東京銀座)
	千代田グループグループ幹事	鈴鹿 規子氏(東京レインボー)

卓話「公式訪問に際して」

第2750地区ガバナー 市川伊三夫氏
(東京銀座RC)



今朝10時から南クラブと新南クラブの幹部の皆さんと親しく話をしました。クラブの目標、活動、目指していること、地区への質問などをうかがいましたが、南クラブには魅力あるメンバーがたくさんおられます。明るいクラブで皆さんのベクトルがあっていることが分かりました。夜の会も多く、皆さん大変仲がいい。これからは沢山の人を勧誘されて模範になるクラブとして活躍していただきたいと申しあげました。新南クラブは全員参加でいろんな取組みをしておられる。委員会活動が充実している。退会防止と会員増強にも全員で取り組んでいます。奉仕活動について示唆に富んだことをうかがいました。

私は2月にアナハイムに行って、外からクラブを見ることを体験しました。アメリカのクラブからは、日本のクラブはどうなっているのか、これからどうなっていくのか、という問いかけを沢山受けました。日本とアメリカは21世紀のロータリーをどう育てるか。その入り口のところで、アプローチの違いがあると思いました。日本では、ロータリークラブに入らないかと誘うと、そのクラブにどんな人がいるかが話題になります。アメリカでは、そのクラブがどんな奉仕をしているか、奉仕の中身によって入会を考えます。

日本には34の地区があります。私は34人のガバナーと親しくなりましたが、皆さんから2750地区ではどう考えているかとよく聞かれました。アメリカにとって日本は大切な国ですが、日本の中では2750地区は注目を浴びています。我々はロータリアンのお手本になる必要がある、襟を正さなければいけ

ないと思いました。ハイレベルのスケールの大きい活動が期待されています。

1905年2月23日にロータリーはシカゴで始まりました。2005年その2月23日に、私は1,800人の人と奉仕活動をしました。飢餓に苦しんでいる人達に送る食料を詰め込む作業を手伝っていたら、横にRI会長のステンハーマーさんがおられました。それで「超我の奉仕」というスローガンはいいですね、これを決めるのに悩まれましたかと聞いたら、2か月程悩んだと言われました。101年目に「超我の奉仕」を選んだのはよかった。アナハイムから大先輩の黒沢さんに手紙を書きました。黒沢さんが返事をくださり、「超我の奉仕」は素晴らしいと書いてくださいました。

ステンハーマーさんは、会員増強を最重要視しています。より多くの人にロータリーを知って欲しい。さらに、識字率と水の問題を重要課題にしました。私は、識字率は日本の問題にはないと思いますが、字を読めない人、書けない人が世界に8億人以上いる。3分の2が女性です。10億人が水を飲めず、飢饉と疾病に苦しんでいる。ベルリンの壁が崩壊したとき、世界中の人がこれから世の中がよくなると思ったのですが、実際には悪くなりました。悪くなって行くのをどうくい止めるか。私たちの努力が求められています。

日本に帰って見ると、識字率の問題は日本でも重要な課題であることが分かりました。日本で識字率が落ちている。大学生の国語力は昔の中学生程度しかない。文字というのは約束ごとです。約束が守られなければ世界の中でやっていけない。識字の問題は日本でも深刻な問題になりつつあります。水の問題は今の日本にはないといつてよいでしょう。緑が増えているのは世界の中で日本だけです。しかしそれは、食料の自給率が40%しかないからです。外国が食料を出せなくなり、100%自給となったら、水は不足し生活レベルを下げざるをえなくなるでしょう。この2つを身近な問題として1年間ロータリー活動をしていただきたいと思います。

ロータリーがなにをしているか、世間にはあまり知られていません。もう少し知らせる努力をした方がいいのではないかと。例えば多摩川に沿っていくつかロータリークラブがありますが、それぞれが多摩川の清掃運動をしている。それを上流から下流まで、同じ日に一斉にすれば人の目に触れ、ロータリアン以外の人も家族も協力してくれるでしょう。

私は2つのことをお願いしています。カムリーバンクとカトリックナハリケーンです。カムリーバンクはボールハリスの住んだ家です。シカゴのエバーストンにあります。エバーストンには立派な家が沢山立っています。その中にあって、ハリスの家は実に質素な家でした。そういう生活をハリスはしていた。

ハリスが4人でロータリーを始めた頃、シカゴの町は薄汚れていて、汚い街だった。それでトイレが1つあれば随分違うと考えてお互い金を集めてトイレを作ろうとしたが、とても足りない。毎日集めていって、集まったら建てようということになりました。自分たちの家を立派にする余裕などなかったのでしょう。これは、ロータリーを考え、ポールハリスを考えるきっかけを与えてくれる家だと考えて、呼びかけることにしたのです。

カトリーナハリケーン。関東大地震のとき、ロータリーの本部から日本に多額の現金が送られて来た。日本のロータリーはできたばかりでろくに金も払っていないので、ロータリアンはびっくりした。日本の政府もびっくりした。今度はアメリカがひどい被害を受けたので、何10年もの借金を返すつもりで、皆さんにお願いしました。三鷹に99歳のロータリアンがいます。日本がアメリカを助ける機会がめったにないと言って1,000ドルを送ってきました。関西のロータリアンは昔の恩を忘れるわけにはいかないと、100万円送ってきました。こうした人達の好意にお応えしたいと思います。

ロータリーの原点に帰れとよく言われますが、4人で始めたロータリーと会員が120万人を超えたロータリーが同じというわけにはいかない。しかし4人の気高い心を思い出すことは大切です。私がニューヨークにいたときアメリカは、建国200年を迎えました。そのときアリヨシさんという州知事にいました。アリヨシさんは、戦後将校として日本に来ました。負けたけれど日本人は立派な民族だと両親に言われて日本に来たが、キャンプで見たのはルールなし、道徳心なし、汚い、混乱した日本の姿でした。あるときキャンプの外に出たら10人以上の靴みがきがあった。その中に10歳位の男の子がいて、コカコーラのビンを横において、朝から晩まで靴をみがいていた。その子になにかしてあげたいと思って、ある日靴を磨いてもらい、持っていたパンをあげた。子供は深々とお辞儀をしてパンを受け取りポケットにしまいました。どうして食べないのと聞いたら、3つになる妹がいるという。どんなに苦しくても人を思う心がある。毅然としていて恥じるところがない。初めて両親のいう日本人にあったという思いがした、と言っておられました。ハイスピリットで高い理想を持ち、人を思い人を助ける。それがロータリーの心ではないでしょうか。

(記録 大日方 真)

◎懇談会が東京會館12Fコレニアルーム(11:00~12:00)で開催されました。

出席者 市川ガバナー、能勢地区幹事、鈴鹿グループ幹事
小杉会長、荒木会長エレクト、福島幹事(6名)

10月20日出席報告(当クラブ):

会員52名/出席31名・欠席21名(出席規定免除者5名)



10月20日/11件39,000円/本年累計411,000円
多額のご寄付を有難うございました。(敬称略)

東京南RC会長星野欣也、副会長大西紀男、幹事手貝哲夫、親睦活動委員長中井盛久、SAA浜中正樹/市川ガバナー公式訪問と東京新南・東京南合同例会を祝して。馬場一廣、武下朗/合同例会でお世話になります。荒木昭文/市川ガバナー、公式訪問ありがとうございます。先週誕生日祝有難うございます。西澤民夫/祝合同例会。小原健/祝合同例会。橋本年男/岩上さん御苦勞様です。

忘年家族会プログラム

日時 12月1日(木)
場所 都ホテル東京(醍醐の間) 一港区白金台1-1-50
費用 会員/25,000円
会友、家族、麻布RC、ゲスト/15,000円 中学生以下/7,000円

17:00 第1部登録開始

(第1部)夜間例会(第911回例会)

17:25 着席

17:30 例会・点鐘 会長 小杉 修造
[It's a Small World] ソングリーダー 柴本 芳郎
会長挨拶 会長 小杉 修造
ご家族紹介 会長 小杉 修造

東京麻布RC会長 清原 元輔

来客紹介 親睦活動副委員長 尾上 寛

ニコニコボックス紹介 SAAリーダー 小原 健

18:00 閉会挨拶 東京麻布RC会長 清原 元輔

18:10 閉会・点鐘 会長 小杉 修造

(第2部)忘年家族会 (司会)親睦活動委員長 西澤 民夫

18:00 第2部登録開始(JCOBと美研関係一ウエルカムドリンク提供)

18:25 入場

18:30 乾杯・ディナー 田辺 賢三

19:30~21:00

「加山雄三トーク&ライブショー」出演 加山 雄三

21:10 閉会の挨拶 副会長 土屋 東一
(恒例のチャリティ・バザーはありません。)

東京新南・麻布RC合同親睦ゴルフコンペ

10月18日(火)オークヒルズCC参加者/新南RC10名 小杉会長、西澤(民)、吉岡、小原、同夫人、椎名、尾上、岩上、高須、竹本、麻布RC、清原会長はじめ8名、計18名。(順不同敬称略)

先週末よりの雨模様がおさまらず、前日まで決行を危ぶまれたが、現地ピンポイントの天気予報によると午前9時から1時まで曇り、その前後は、1mmの降水確率。祈る気持ちで決行。しかしゴルフ場に向かう車中、ウインドウガラスを叩きつける激しい雨に見舞われ、親睦委員関係者不運に戸惑うも、8時6分スタートに合わせたように雨あがり、暗雲の空に白球が突き刺さるシーンの連続。昼食後、にわかに雲いきが悪化、雨模様になるも、暑からず寒からず、楽しい会話が弾み、ロータリアンの友好・友愛のところに強い日差しが降り注いだ一日でした。ちなみに、団体戦、個人戦共に新南RCの圧勝で、次回麻布RCの幹事で再挑戦を誓われ、散会となりました。(竹本 記)



●次週予告/11月4日第907回例会

◎次年度(2006~2007年度)理事・役員候補者指名

◎卓話予定「ロータリー財団について」

国際奉仕委員長 早川清隆君